

令和3年の犯罪や交通事故の状況について

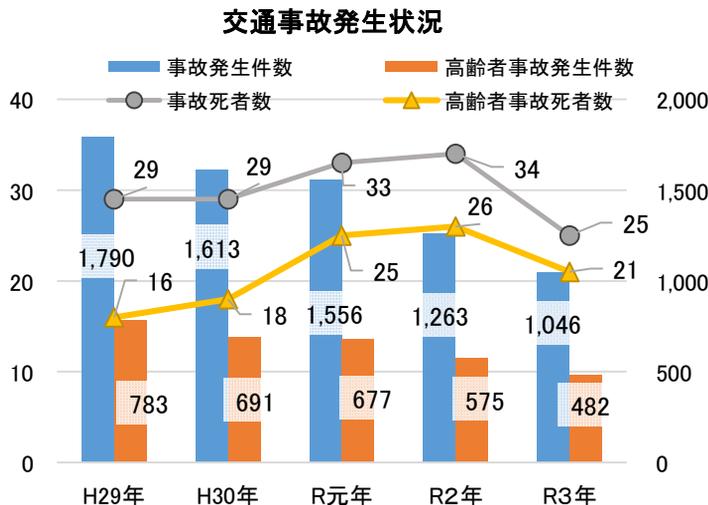
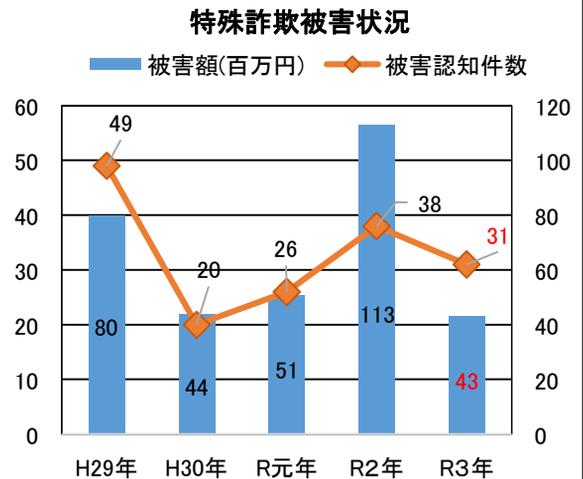
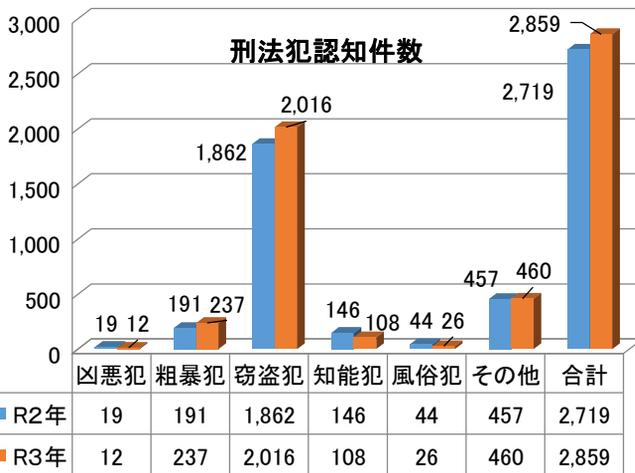
令和3年、県内の刑法犯認知件数は2,859件にのぼり、前年に比べ140件増加しました。

罪種別に見ると、窃盗犯が2,016件と刑法犯認知件数全体の約7割を占め、また、前年と比べて154件増加していることから、窃盗犯の増加が、刑法犯全体の増加の大きな要因となっています。

内訳を見ると「自転車盗」、「車上ねらい」及び「住宅対象の侵入窃盗」が、窃盗犯全体の約3割半を占めており、そのうち約7割が無施錠、いわゆる鍵をかけていない状態で被害に遭っています。被害を防ぐためには、簡単で有効な対策の「鍵かけ」を呼び掛けていくことが大切です。

特殊詐欺被害は、認知件数31件、被害総額約4,300万円と、前年に比べて件数・被害総額ともに減少しました。最も多い手口は、郵便やインターネットなどを利用し、ありもしない事実を口実に料金を請求する「架空料金請求詐欺」で、全体の約4割を占めています。

被害全体の約6割強を高齢者が占めており、高齢者対象の被害防止対策が引き続き必要である一方、社会情勢に応じ手口が多様化・巧妙化し、高齢者だけでなく若者を含む幅広い年齢層に被害が拡大していることから、今後も全年代を対象とした情報提供等の取組を強化していく必要があります。不審なメールや電話を受けた場合には、家族や警察などに相談するよう呼びかけていくことも大切です。



令和3年、県内の交通事故発生件数は1,046件と、前年に比べ217件減少しました。また、交通事故死者数は25名と、統計を開始した昭和27年以来最少でした。

一方、高齢者事故発生件数が交通事故全体の5割弱、事故死者数では、全死者の8割強にあたる21名が高齢者となっています。

このことから、高齢者の交通安全対策の重要性は更に高まっており、広報啓発活動や戸別訪問活動等の高齢者を中心とした交通安全対策を、力強く推進していく必要があります。

令和3年度高知県安全安心まちづくり功労団体等表彰式を開催



～表彰式の模様～

令和4年2月15日(火)、令和3年度高知県安全安心まちづくり功労団体等表彰式を開催しました。

例年、表彰式は、高知県安全安心まちづくり推進会議総会の中で行っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため総会は書面開催に代え、当日は、表彰式のみを実施しました。

表彰式では、令和3年度の高知県安全安心まちづくり功労団体と個人、そして安全安心まちづくりポスターの最優秀と優秀の入選者に対し、推進会議会長代理の井上高知県副知事から表彰状が手渡されました。

功労団体等受賞者

○団体の部

- ・戸波あったかパトロール隊
- ・「わたり会」具同地区学校支援地域本部
- ・高知県立高知工業高等学校情報技術部
- ・山田小学校やまびこ会

○個人の部

- ・明神正典氏 ・浜田豊高氏 ・志手功氏

ポスター入選受賞者

- 小学生の部 最優秀：山中 樹さん
優秀：上田陸斗さん
- 中高生の部 最優秀：岡林水希さん
優秀：宮崎寧々さん



～会長挨拶(副知事代読)の模様～

第3回高知県安全安心まちづくり検討会を開催



検討会の模様

県では、「高知県犯罪のない安全安心まちづくり推進計画」を策定し、犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する取組を総合的かつ計画的に推進しています。

計画期間は5年間で、現行の第3次計画が本年度で期間満了となることから、第4次計画策定に向けて検討を進めてきました。

第4次計画については、これまでの課題や成果を踏まえながら、犯罪情勢や社会情勢の変化を反映したものとするため、検討会での協議やパブリックコメントの実施を

通じ、県民の皆さまや有識者の方々等から広くご意見を募ってきました。

令和4年2月21日(月)、高知県人権啓発センター6階ホールで、第3回高知県安全安心まちづくり検討会を開催し、計画案について最終のご審議をいただきました。

検討会でいただいたご意見を反映させ、令和4年3月に第4次計画を策定・公表する予定です。

□ 安全安心まちづくり会報 編集・発行者
高知県安全安心まちづくり推進会議事務局

□ 高知県犯罪のない安全安心まちづくりのページ

<http://www.pref.kochi.jp/soshiki/141601/azenanshin-index.html>



□ 問い合わせ先

高知県文化生活スポーツ部 県民生活課
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL 088-823-9319 FAX 088-823-9879
E-mail:141601@ken.pref.kochi.lg.jp